

## 南海トラフ地震想定

# 高知、徳島に医療団

AMDA訓練 所要時間など確認

国際医療ボランティアAMD A（本部・岡山市）は9日、南海トラフ地震の発生時に甚大な被害が予想される高知、徳島両県の沿岸部に医療チームを派遣する訓練を初めて行った。総社、丸亀市など災害支援に関する連携協定を結んでいる中四

国の8市町と協力し、総社市を起点に陸路、海路、空路で現地に向かい、所要時間などを確認した。

マグニチュード8.6の地震が発生、太平洋沿岸に大津波警報が発令され、AMD Aが総社市と合同対策本部を設置した―と想定。

AMD Aグループの菅波茂代表や看護師らチーム6人が同市役所を出発、協力自治体でスタッフと合流しながら、瀬戸大橋やヘリコプター、海上タクシーを使う三つのルートで瀬戸内海を越え、最終地点の高知県黒潮町と徳島県美波町を目指した。

AMD Aによると、両町の活動拠点までの所要時間や衛星電話の通信状況、災害時に通行できない可能性のあるルートなどをチェックしたという。

訓練を踏まえ、AMD Aと協力自治体は来年2月、県内で調整会議を開催。課題を検討した上で、医療チームの緊急輸送・通信に関するプログラムを策定する計画。



医療チームの派遣訓練で、車に乗り込むAMD A職員ら＝総社市役所